

令和元年度「幼児の体験活動指導者研修会」

～子どもが主体的に取り組み運動能力を高める運動遊びの仕組み方～

令和元年 10月26日(土)

【目的】 幼児期にさせたい運動体験について指導事例をもとに理解を深め、**実習**を通してその**指導方法や場の設定の仕方**を学び、指導に生かす。

【参加者】 保育士、幼稚園・認定子ども園の教諭、それを目指す大学生 15名

【講師】 山口大学教育学部附属幼稚園 教諭 高田 和宜 氏
(株)ユーレスト・ジャパン山口徳地店 栄養士 河村 雅美 氏
国立山口徳地青少年自然の家 事業推進係 益田 美恵

【内容】 I 講義・実習「子どもが主体的に取り組み運動能力を高める運動遊びの仕組み方」
講師 山口大学教育学部附属幼稚園 教諭 高田 和宜 氏

I-①【幼児の運動能力を高める研究でわかってきたこと】

- 1 幼児が運動遊びに**自発的に関わる**と、より**運動能力が高まる**傾向がある。
※指示された運動 ⇒子どもが工夫する運動遊びへ(反復的な動き) ⇒(経験を生かした総合的な動き)
遊び文化を園の幼児に広める
- 2 **友だちの動きを見ている** 幼児は、運動時間が短くとも**運動能力が高まる**傾向がある。※動きを見せると、代理体験ができる
運動に消極的な幼児の運動能力を高める



- ①【屋内の運動遊びコース】の場づくりと指導方法
- ② どの子どもも楽しめる【ボール運動】の場づくりと指導方法
- ③ 運動体験を増やす【集団遊び】の指導方法
- ④ 身近な材料を使った【屋外の運動遊びコース】の場づくり

II 実習「子どもが自然に親しむ秋のクラフト活動紹介」 国立山口徳地青少年自然の家 益田 美恵

III 事例紹介「buffet形式を使った幼児の食育指導の紹介」(株)ユーレストジャパン山口徳地店 栄養士 河村 雅美 氏

I-②【子どものやる気スイッチ】を入れる 3つの工夫

1【動きのモデルを見せる】 同年代の子供の動き 代理体験の効果

2【自発的に動けるまでの 学びのステップ】をつくる】

- ① 物・動きに **なれる** 【動きを分けて習得】 必要な動きごとに、スモールステップで指導
- ② なれた動きを **ためず** 【習得した動きを合わせて】 それぞれの動きを総合的に発揮する
- ③ 物・動きを **使いこなす**【遊びへの関わりを深める】 関わり合っ、ルールや場を工夫して遊ぶ

3【よい動きができたなら、ほめる】

「〇〇がよかった・じょうず・すごいね・ありがとう(協力)」
よい動きができた **タイミング** でほめる。ほめられる場をつくる。



【実習① 屋内サーキットコース】
指導の手順「なれる・試す・使いこなす」を講義と実習を通して学ぶ。



【実習② しっぽとり】
友だちの動きを「見る」ことで疑似体験をさせる手法、能力差があっても楽しめる工夫について学ぶ。



【実習③ ボール遊び(ドッチボールに繋ぐ)】
スモールステップで、必要な動きを習得させ、総合的な動きにつなげる。



【実習④ 屋外コース】
シンボルとなる設備を中心に、回遊しながら遊び場をめぐる、主体的に遊ぶ。



【実習 自然物に親しむ秋のクラフト】
マテバシイの実をネズミの顔に見立て、つた、枝の輪切、フェルトを使って、「森」の物語の一場面を創作していく。



【研修の構成】

幼児教育・保育に携わる多忙な先生方に、体験活動の楽しさを実感していただくことをねらいとし、昨年度から幼児教育指導者を対象とした実習中心の研修会を開催している。本年度は、昨年度に先生方からの要望が多かった「運動遊び」を取り上げ、中心テーマを「子どもが主体的に取り組み運動能力を高める運動遊びの仕組み方」とし、「運動遊びに消極的な幼児の運動能力を高める指導」に焦点を当て、山口大学附属幼稚園 高田先生に指導実践事例を基にご指導いただくこととした。

【成果・課題】

講習の全体満足度は「4.大変満足」が93%であり、参加申込み理由として多かった「情報を得る」「指導の具体を学ぶ」に概ね応えることができたように思う。今回、「運動遊び」をテーマとしたが、先生方の関心は高く、引き続き次年度のテーマの1つとして内容検討をしていく。「自然物を使ったクラフト」は、昨年引き続き取り入れたが、本年度も関心は高く、次年度も継続していきたい。

昨年度の口コミと新しい広報先から参加者は増えたが、引き続き広報の工夫が必要である。広報先を広げることを検討していく。

【受講後アンケートの自由記述より】

- 子どもが自主的に遊ぶ中で、様々な動きを取り入れ、体を全体的に使えるようになるのはとてもよいと思った。
- 実際に体験しながら講習を受けて楽しかった。自分の保育に取り入れていく。自然の家での自然体験は子ども達にとっての大切な体験になると思った。
- すぐに保育に取り入れられる内容で、実践のイメージがしやすい。クラフトもかわいく楽しく作ることができた。フェルトの型紙があるとよい。食堂食もよかった。
- 「段階をふんで、ボール運動を行う」ことで、恐怖心がやわらぐことがわかった。
- 「4つの窓口を活用して子供の運動能力を伸ばし、自発的な遊びが展開できるようにしたい。たくさん学びがあった。
- 「指導について、子供の発達に応じてどのような過程を経験させていけばよいのかわかった気がした。」